

次の時代の地域創生をめざす

宇都宮大学

「地域の知の拠点」として、 文・理の枠を超えた人材を育てる

宇都宮大学が誕生して、今年で70周年を迎えます。栃木県内唯一の国立大学として、地域の人材育成に力を注いできましたが、それも皆さまのご理解、お力添えがあったからこそと、深く感謝申し上げます。

70周年を記念して本学の歩みを紹介する企画展「宇都宮大学の歴史」などを、創立月である11月に開催する予定です。ぜひ足をお運びください（詳細は特設サイトをご覧ください。 <https://www.utsunomiya-u.ac.jp/uu70th/>）。

UUカレッジ開講

近年、大学のあり方は大きく変わりつつあります。本学も、さまざまな改革に取り組んできました。そのいくつかをご紹介します。

本学は、以前からリカレント教育（社会人が就業しながら学べる教育の仕組み）

に力を注いできました。近年は国の施策もあり、リカレント教育の重要性がさらに大きくなっています。

これまで公開講座や科目等履修生制度などで、定年後の生涯教育や社会人の学び直しといったニーズに対応してきましたが、平成30（2018）年度から新たに「UUカレッジ」をスタートしました。

この制度は、宇都宮大学で開設されている授業科目を広く開放するものです。もちろん、特殊な知識や技術が必要とされる実験や、体育などは履修できないものもありますが、座学系の講義でしたらどれでも受けることができます。

登録料（初年度5000円）や受講料・授業料（1科目15000円）がかかりますが、従来の科目等履修生よりはかなり低いものです。単位取得はできませんし試験も受けられませんが（レポートなどは教員と相談の上で出すことも可能です）、リカレント教育としてはかなり自由度が高く、利

用しやすい制度になったと考えています。条件を満たせば「履修証明書」が発行されます。これがあれば、社会人の皆さんは、職場に受講の成果を示すことができます。

とはいえ、たくさんある授業の中からどれを選べばいいか、とまどってしまう人もいます。そこで本学では専門のメンター（助言者）を置いています。メンターが受講希望者と面談し、細かなアドバイスをしますから、失敗は少ないと思います。また説明会や中間報告、ふりかえりなどのサポートもしています。

昨年度が初めてだったのですが、当初は「応募者は年度あたり10名ほどでは」と思っていたところ、説明会に100人近くの参加があつて、大変驚きました。最終的に54人の受講となりました。年齢も定年退職された方から20代の方まで、さまざまです。大変うれしく感じています。

若い方には、自分のいまの仕事にプラスになる、自分の幅を広げて転職するなど、

いろいろな目的で活用していただけたらと思います。

SDGsをさらに進める

平成27（2015）年に国連で開催されたサミットで「持続可能な開発目標（SDGs）」が、国際社会の共通目標として定められました。本学では以前より大学の理念と方針の中で「持続可能な社会の形成を促す研究を中心に、高水準で特色のある研究を推進します」として教育や地域貢献などに取り組んできました。

「地域に学び、地域に返す、地域と大学の支え合い」は本学のモットーですが、ここにもSDGsの考え方を取ることができ

ます。現在、学内に「地域創生推進機構」があります。これは地域（自治体や団体など）との連携を進め地域の未来づくりに貢献する「地域デザインセンター」と、一般市民や企業人を対象に社会人の学びを推進する「宇大アカデミー」、そして地域イノベーションの創出を、産学官金連携で支援するための「産学イノベーションセンター」の3つの柱を持ち、全体として地域の知の拠点としてのニーズに応えるための組織です。

地域創生推進機構を設立することで、地域と大学を結ぶプラットフォーム機能を具体的に強化し、地域のニーズに対応できる大学として地域貢献をめざしています。

私は、大学が地域に対して開く窓口は、3つあると考えています。



今年、創立70周年を迎える国立大学法人宇都宮大学。
地域の産業を支える研究や人材育成に取り組んできた
同大学の新たな地域貢献や大学改革を、池田幸・同大副学長にうかがいました。

写真:宇都宮大学峰キャンパス

- ◎ 地域の住民に開かれた窓口
- ◎ 産学連携などの地域の企業産業に開かれた窓口
- ◎ 地域の自治体、各種公共団体と連携した窓口

これら3つは、本当はワンストップソリューションが望ましいのです。地域創生推進機構は、ワンストップのための試みでもあります。

グローバルな人材育成を

また、大学の本来の役割である教育の分野でも、近年は学部の再編などに力を入れ、よりニーズに密着した人材育成をめざしています。

現在、宇都宮大学には「地域デザイン学部」「国際学部」「教育学部」「工学部」「農学部」の5つの学部があります。このうち「地域デザイン学部」は、3年前に創設された新しい学部で「地域の持続的な発展に関する教育・研究・地域貢献を推進することによって、豊かな生活の実現に貢献する」を理念に掲げて、地域活性化のための文理融合した知を持つ人材の育成をめざしています。この学部の創設も、本学のSDGs活動とつながっています。

また今年度から大学院についても「地域創生科学研究科」をスタートしました。これまでは国際学部の大学院は国際学研究科、工学部の大学院は工学研究科というふうに分かれて

まっていた。しかしこれでは、自分の専門分野のことには深い知識を学べますが、他分野のことを学ぶ機会が少なくなってしまう。一方、これからの社会が直面する課題を解決するためには、分野横断的な知識が不可欠だと考えています。そこで、大学院では、全員が文理融合的な教育や研究指導を受けられる地域創生科学研究科で学ぶこととしました。またスタートしたばかりですが、大きな成果を期待しているところなんです。

国立大学の人材育成には「グローバル」と「ローカル」の両方の視点「グローバル」が必要だと考えています。地域の人材育成をめざすにしても、地域のことだけしか分からない人材では、これからの地域社会への貢献は難しいでしょう。本学は、世界最先端の知に裏打ちされた教育で、地域の人材を育てることを目指しています。

今回お話ししたこと以外にも、宇都宮大学ではさまざまな地域との共生の取り組みを行っています。企業の皆さまにも広く門戸を開いていますし、学びを続けたい市民の方々もできるかぎりサポートしたいと考えています。ぜひ宇都宮大学を「地域の知の拠点」としてご利用ください。



国立大学法人
宇都宮大学理事・副学長
池田 幸さん

●問合せ
国立大学法人 宇都宮大学
広報・地域連携室
宇都宮市峰町350
TEL.028-649-8172
<https://www.utsunomiya-u.ac.jp>

広いキャンパスには緑も豊か